

- ◆開催日 平成 31 年 2 月 27 日 (水)
- ◆時間 午後 2 時 開会 午後 4 時 00 分 閉会
- ◆場所 生涯学習まちづくりセンター 現地視察 生活文化総合センター1 階
- ◆出席委員 佐野委員 瀧原委員 足立委員 芝本委員 大平委員 (欠席 埴岡委員)
- ◆事務局 笹倉教育長 森脇教育部長 鈴木教育総務課長 山本生涯学習課長
大塚生活文化総合センター館長 菅澤敏弘

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 報告及び意見交換
 - (1) 平成 30 年度文化財関係事業報告及び平成 31 年度文化財環境事業計画について
 - 事務局 資料「協議報告資料」より、平成 30 年度文化財関係事業報告及び平成 31 年度文化財環境事業計画について説明
 - 委 員 古文書講座の脇坂先生の体調は戻りましたか。
 - 事務局 まだ全快ではございません。古文書講座につきましては、本年 4 月より古文書の知識のある嘱託職員を採用予定で、その方に古文書講座お願いする予定です。
 - 委 員 生活文化総合センターのリニューアルに合わせた、資料館の特別展示予定について教えてください。
 - 事務局 リニューアル後の館内に郷土資料館の資料展示ができるスペースを 1 階に設けます。こちらで年 4 回、季節ごとの展示を予定しています。オープン展示ということで、地下の収蔵庫に保管しています民具等を直に触れていただけるような展示を考えています。
 - 委 員 「リニューアルオープン記念企画展 年 3 回」というような文言が必要。お知らせが弱い。我々はやっているのだというものが見えてこない。市役所の中に届く、声が聞こえるような企画の名称と企画展にしてほしいということです。
 - (2) J R 鍛冶屋線跡地市道市原羽安線道路改良工事発掘調査について
 - 事務局 資料 市道市原羽安線道路改良工事発掘調査について説明
 - 委 員 ハゼノ木遺跡というのは、一回、発掘しているのですか、弥生中期の埋蔵地ですか。
 - 事務局 包蔵地でありまして、昭和 50 年代のほ場整備の時に、奈良時代の大型の倉庫が出てきたり、弥生の住居址が出てきた遺跡がすぐそこにある。
 - 委 員 調査地との関連は。
 - 事務局 ハゼノ木遺跡で奈良時代の倉庫の跡で、郷の倉庫ではないかと言われている倉庫群ですので、関連のある遺跡の可能性があると考えている。
 - 委 員 一応、包蔵地として囲ってあるのですね。今回、野中・高ノ坪遺跡と言うところだけ抜けているのは何か理由があるのか。
 - 事務局 試掘調査で旧河道が走っていて遺構がないため。

- 会 長 調査の跡地はもう済んでいるか。
- 事務局 工事がそのまま入っている。
- 会 長 それは工事によって、発掘した遺構も壊されているのか。
- 事務局 今回、工事して潰れるところを記録保存と言うことになります。記録写真と図面とを撮りましたので、もう工事は進んでいる。
- 会 長 ということはしっかりとした報告書を作成しなければならない。
- 委 員 遺跡調査をすると、基本的には記録保存で良いわけなのですが、それだと報告書は、出て、報告書を見たことがある人には遺跡の内容が分かるのですが、報告付近の住民にとって、こういうものが有ったのかと言うことになると、多分、報告書を見る人なんかいないと思うので、出来れば、ここにはこういう遺跡があったのですよという解説版程度のものは、作ってもらえたらなと思っている。
- 事務局 市原羽安線につきましては、開発部局の建設水道部の方で、工事の中で、県の補助になるのですが、看板を設置していただく予定で動いている。

(3) 福地・百合山古墳のき損について

- 事務局 福地・百合山古墳のき損について説明
- 委 員 前の太陽光パネルの時も二度と起こしてはならないと誓ったはずで、あの時の議論で何かできることは無いのかと言う話をしましたね。一番いいのは立て看板を設置すること。
- 事務局 800 箇所あります。古墳で 600 箇所。
- 委 員 包蔵地に看板を立てるとか、市の広報に一つずつ載せていくとか、地区の会長さんに包蔵地の地図をちゃんと渡して、引き継ぎ事項として、次の会長さんにもこれ伝えてくださいね。と言うような形で渡すとか、何かもう少し対策を練らないと掛け声だけで終わってしまう。地区会長が一番良いと思う。
- 事務局 高松古墳の後、市の開発部局にも包蔵地の地図を置いているのですが、今回、山林の伐採の方なので、部局としては農林の部局になり、伐採届を提出されているのですね。農林のところまで図面を渡していなかった。地区で何とか対策を立てられないか今後、考えていきます。
- 会 長 ここ 4~5 年で 4 回目になるのですね。西脇市内で連続して 4 件も起きているので、残念ではない。問題なのは、多分市民には全く伝わってないですよ。公表していませんね。だから肝心の普及啓発活動がきちんと出来ていないのかなあという気がする。
- 事務局 議会の方には報告はしている。
- 会 長 それを考慮しておられるなら結構です。私も広報に 1 頁くらいはとって、文化財の保存問題について特集記事のようなものを早急にやって頂きたい。
- 委 員 事業者側からはお詫び文とかは出ているのか。
- 事務局 業者からの顛末書を取っている。
- 委 員 それに対して市教委、県教委からの警告と言ったものは無いのか。
- 事務局 最終的には二度とないようにしてください、という返事が県から事業者宛てにくると思う。勿論、県教育委員会の方にも報告し、現地も見てもらい、先生方と同じように、数年前にあったことなので、体制について、今のところ調整して行っている段階。
- 委 員 今後の話として出ているのですが、資材庫として今後使っていく状態で、これ以上は壊さ

ないという話と、使っていくという話とはうまく整合性がとれるのか。

- 事務局 上に物を置く、というのには私有財産なのでそこまで制限は出来ません。
- 事務局 県の担当者にも1回、現地を見てもらっておりまして、最終、菅澤の方でまとめさせていただきますので、その後一度、県に報告に行く予定ですので、県と調整をしていきます。
- 委員 遺すべきものと、遺さなくていいものをちゃんと相手に伝えたいと思います。
- 会長 こういう古墳の状況の場合、芝生とかネットを被せるとかして崩落を防ぐのに、あまりお金のかからない良い方法はありませんか。
- 委員 緊急なので、今おっしゃられた方法で草を生やすのが一番大事な方法です。だからやって欲しいのだったら古墳の墳丘の部分は、もう一度きちっと草が生えてくる状態に戻す努力をされるのがいいと思います
- 会長 そろそろ本格的に人の手配をしないと、どうにも文化財行政が回っていかない気がするのですが、いかがでしょうか。
- 事務局 31年度については、正規職員ではありませんが1名の増員を予定しています。あくまで市道市原羽安線の報告書を作成するまでの、その作業が結構かかるということで、その分については人を充てるということで増員をします。
- 委員 包蔵地での文化財の破壊について、今後の対策として広報等での周知を言われましたが、そんなにたくさんを割けないと思われまので、一つの方法として、市内8地区あるのですが、地区のコミセン的な、黒田庄で言うと黒っこプラザと言うのがあるのですが、そういったところを順番に巡回展示をしたらどうか。そういう形でしたら一度に8か所を知って頂ける。

(4) 西脇小学校木造校舎の改修工事の進捗状況について

- 事務局 西脇小学校木造校舎の改修工事の進捗状況について説明
- 委員 校舎の工事としては7月に終わりますけれども、引き続き鉄筋コンクリート校舎の改修を夏休みにやり、外構工事、フェンス等が相当痛んでおりまして、その外周とか、南、中、北とウッドデッキで繋いだものですから、その間の外構工事が必要となってくる。この後引き続いて行われるということ。
竣工した暁には、審議会の皆さんは勿論、市民の皆さんにも公開しないといけないということで、これまで説明会とかいろんなことをやってきましたけど、それよりはもう一回りちゃんとしたものやらないといけないのかなと思いますので、事務局の方にも周知を早めにお願ひしたいと思います。
- 事務局 木造校舎は7月に完成するのですが、あと鉄筋と外構の工事がありますので、時期的なものは未定です。調整が出来次第、事務局を通じて委員の皆様には連絡をいたします。
- 委員 全国的にも注目が、少しずつ上がって来ていまして、汐留にあるパナソニックの展覧会が出来る展示場があるのですが、そこで「小学校の子供の空間」と言う展覧会が行われまして、そこに西脇小学校も紹介されておりまして、図録に少しだけ載っています。

(5) 生活文化総合センター改修工事及びオープニングについて

- 事務局 生活文化総合センター改修工事及びオープニングについて説明
- 委員 資料に「播州織関係資料室」とあるのは、物ですか文献ですか。
- 事務局 主に生地織物見本帳を置いています。

- 委員 この「播州織関係資料室」と言うのは、上に展示していた物が降りて来るだけですか。
- 事務局 収蔵庫に片づけていました、三弘織布という以前工場をしていたところに、昭和 30～40 年代より平成の物まであるのですが、その業者さんが生地サンプルを 3000 点くらい寄贈されたので、手に取って見られるようにしたものです。
- 委員 それは比較的新しい物ですか。
- 事務局 昭和 30～40 年代くらいの物です。
- 委員 こういう生地の見本は、良いものであれば破いて持ち去られることもありうる。播州織の資料って歴史資料にもなる物です。尼崎の日本毛織なんかはガラスケースの中に入れて見せているだけです。

活用も大事ですが、保存も大事。どう向き合うかも考える必要がある。入館の際に名前・目的等を記帳してもらうことも大事で、都度、異状がないかを確認する。保護も考えてもらいたい。

西脇と言う街の播州織の位置づけを考えると、歴史資料が皆が見ている間に段々と劣化するので、本当はきちっとした保護が大切です。この辺を出来る範囲で考えられたらいかがでしょうか。

(6) その他

- 会長 次第の 5 番 その他に移ります。事務局から何かありますか。
- 事務局 ありません。
- 委員 「市民サロン」がありますが、特別展はここですか。
- 事務局 2 階の資料館の常設展示の隣を使用しています。
- 委員 市民サロンを使って短期間でもいいから、文化財を用いて企画展をやるべきである。
- 事務局 この件は検討させていただきます。
- 会長 それでは、他に無いようでしたらこれで西脇市文化財保護審議会を閉会いたします。

閉会后、改修された「生活文化総合センター」の施設見学

以上